

教員用FD-Handbook開発

2017年 3月 1日

情報メディア教育研究センター

FD推進センターとの関連

FD推進センター

情報メディア教育
研究センター



教育および学びの質の向上を目的とした
教員・職員・学生による組織的・継続的な
取り組みを担う全学的な機関
(2005年に設置)

ITを活用した教育および研究の推進
(2005年に改組)

FD推進センター組織図

FD開発プロジェクトでは、すべての教員が使える教育方法および教育支援ツールの開発を行っている



FDに関連したシステム

本センターで提案したシステムが全学的に展開されている



法政大学 Online 大学 Syllabus 2010

Home > 全文検索 > キーワード検索 > 科目検索

コンピュータサイエンス論

講義情報		開講情報	
講義名:	コンピュータサイエンス論	キャンパス:	市ヶ谷
教員:	齊藤 祐司	開講時期:	後期
単位:	2	開講学年:	共通
カテゴリ:	修士課程	昼夜区分:	共通
		曜日・時間:	

授業の目的と意義について

単なる一利用者の立場ではなく、システム開発者あるいはシステム管理者に必要なコンピュータに関する知識を習得し、それらの発端からコンピュータシステムを評価できるようにすることを目標とする。そのためコンピュータシステムに関するテーマだけでなく、それを取り巻く幅広いテーマも取り上げる。

授業の概要と方法

クラウドコンピューティングによりコンピュータの利用に関する常識が変わりつつある。コンピュータの起源から現在に至るまでのコンピュータの歴史を振り返り、大きな変革を繰り返してきたコンピュータに関する科学および技術のなから普遍性を抽出し、デザイン工学において今後とも利用できるであろう科学および技術を解説する。同時にデザイン工学に関連する2、3の主要技術を取り上げ、その機能と原理に関し実習を交えながらより具体的な解説を行う。

授業計画

- 第1回:概説
- 第2回:コンピュータと情報システム
- 第3回:情報通信ネットワーク
- 第4回:オペレーティングシステム
- 第5回:データベース
- 第6回:データベース
- 第7回:開発言語・開発環境
- 第8回:Web2.0
- 第9回:マルチメディア表現および技術
- 第10回:要求仕様書
- 第11回:プロジェクト管理
- 第12回:情報社会および情報倫理
- 第13回:情報政策と情報戦略
- 第14回:クラウドコンピューティングを含む最新技術動向
- 第15回:まとめ・評価

テキスト

授業支援システム上に随時掲載する。

参考書

授業支援システム上に随時掲載する。

成績評価基準

テストおよびレポート。
なおテストは毎回実施する。
欠席4回以上、レポート未提出は単位取得を認めない。

情報教育活用

実習およびテストを随時PCで行うのでノートPCを持ち込むこと。

Webシラバス
(現在は別システム)



My Workspace

ホーム > ステータス > 大学からのお知らせ

2017/03/05 | 授業支援システム停止のお知らせ (小倉井地区停電) | 重要

2016/10/07 | 【法政教員の職】私の授業のひと工夫 更新されました (管理用 スケジュール) | 2017/02/17 9:10

2016/10/07 | 【法政教員の職】私の授業のひと工夫 更新されました (管理用 スケジュール) | 2016/10/07 9:57

2015/11/20 | 掲示板のURLの移行について (管理用 スケジュール) | 2015/11/20 13:38

2014/09/22 | 授業支援システムにログインできない機嫌について (管理用 スケジュール) | 2014/09/22 18:40

2014/07/16 | 履修情報の表示速度改善のお知らせ (管理用 スケジュール) | 2014/07/16 10:45

お知らせ (過去 30 日間のお知らせです)

現在のお知らせはありません。

Powered by Sakai

Copyright 2003-2015 The Apache Foundation. All rights reserved. Portions of Sakai are copyrighted by other parties as described in the Acknowledgments screen. Release - Release - Sakai 3.7.1 - Server:af06

授業支援システム



FDハンドブック

教員の業務的向上に向けた法政大学教員による事例集

検索機能: シラバスの検索ガイド イベント

記事一覧	シラバスの検索ガイド	イベント
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第20回: 田村 直也先生 (現代福祉学部)	FDハンドブックとは / 記事検索方法
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第21回: 本野 真由美先生 (現代福祉学部)	カテゴリ
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第22回: 金子 眞行先生 (生命科学部)	シラバス
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第10回: 田中健二先生 (キャリアデザイン学部)	ポータル形式
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第11回: 真 聖先生 (法学部)	参考文献
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第12回: 本野 真由美先生 (現代福祉学部)	授業改善
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第13回: 熊倉 浩次先生 (情報科学部)	法政教育の職
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第14回: 鈴木 真由美 (国際文化学部)	教員
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第15回: 鈴木 真由美先生 (現代福祉学部)	最新の情報
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第16回: 佐藤 勉先生 (生命科学部)	私の授業のひと工夫 第20回
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第17回: 佐藤 勉先生 (生命科学部)	私の授業のひと工夫 第21回
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第18回: 佐藤 勉先生 (生命科学部)	私の授業のひと工夫 第22回
法政教員の職	私の授業のひと工夫 第19回: 佐藤 勉先生 (生命科学部)	私の授業のひと工夫 第10回

FDハンドブックリニューアル版

教員の課題

教員が授業を行うための実践的な情報が
集約されていない



反転授業をやってみたいが
ビデオを制作したり、配信する方法
がわからない

成績入力方法が改善されたが、
多くの教員が知らない

教員ハンドブック

大学の様々な教育施策や決め事などを簡便にまとめたもの

3. 教育

(1) 教育活動に関する基本的前提

- a. 修業年限、卒業所要単位
- b. 単位の考え方
- c. 単位の付与試験成績評価

(2) シラバス

(3) 学年暦

(4) 授業時間帯

(5) 授業担当回数出講日時間割

(6) クラス名簿受講者名簿採点名簿

(7) 出欠

(8) 休講と補講

(9) 試験

-----中略-----

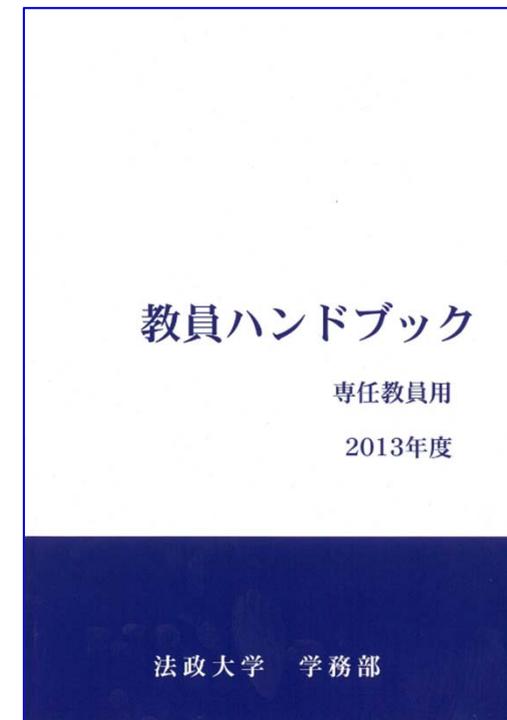
(17) 学生アシスタント（授業支援アシスタント）の採用

(18) オフィスアワー

(19) 学生による授業改善アンケート

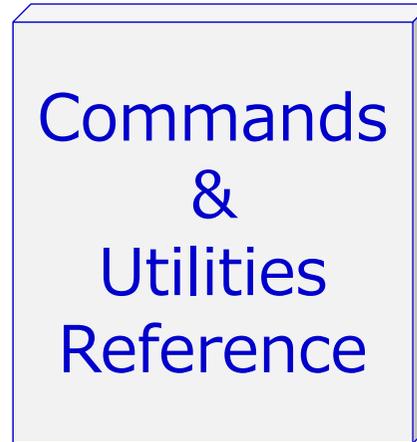
(20) アカデミックサポートサービス

(21) 個人情報の管理

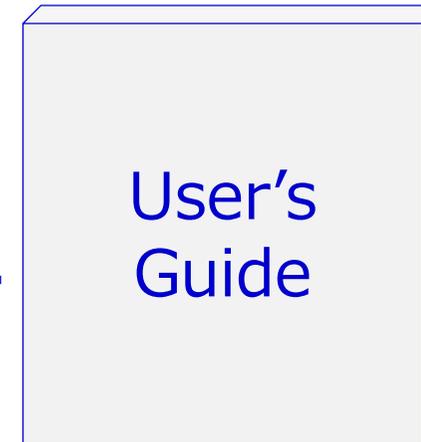


FD Handbookの位置づけ

IBM
マニュアル
体系



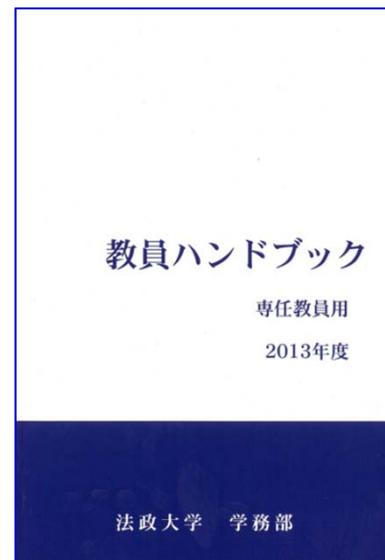
+



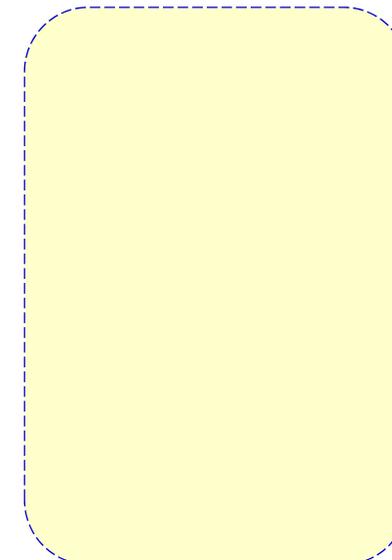
機能の説明

利用方法の説明

教員向
ガイドブック

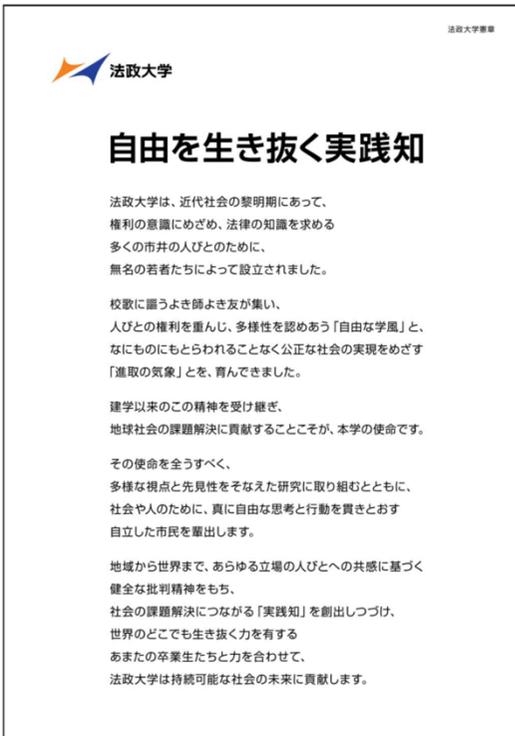


+



方針

- 基本
 - 期ベースのタイムラインで解説
- +
- 授業設計・授業支援サービス
 - ARCS
 - アクティブラーニング、反転授業
 - “自由を生き抜く実践知”授業とは
 - 事例集は既存FD-Handbookを参照



法政大学

自由を生き抜く実践知

法政大学は、近代社会の黎明期にあって、権利の意識にめざめ、法律の知識を求める多くの市井の人びとのために、無名の若者たちによって設立されました。

校歌に謳うよき師よき友が集い、人びとの権利を重んじ、多様性を認めあう「自由な学風」と、なにもにもとられることなく公正な社会の実現をめざす「進取の気象」とを、育んできました。

建学以来のこの精神を受け継ぎ、地球社会の課題解決に貢献することこそが、本学の使命です。

その使命を全うすべく、多様な視点と先見性をそなえた研究に取り組みとともに、社会や人のために、真に自由な思考と行動を貫きとおす自立した市民を輩出します。

地域から世界まで、あらゆる立場の人びとへの共感に基づく健全な批判精神をもち、社会の課題解決につながる「実践知」を創出しつづけ、世界のどこでも生き抜く力を有するあまたの卒業生たちと力を合わせて、法政大学は持続可能な社会の未来に貢献します。

何があると教員はうれしいか？ (2016/5/18)

- HOSEI2030の実践知は定義せず、それを暗示する事例集が望ましい。多様な教育を志向する教員にはテンプレートは向かない。
- Best Teacher賞の教員の授業をビデオで見たい。
- カリキュラム見直しの際にアクティブラーニングを議論したが意見百出であった。それらを説明する資料集と具体的なイメージビデオなどがあるとよい。
- 参考となるシラバス事例、数行で説明された簡潔なシステムガイドがあるとよい。



- ビデオの活用
(総長によるHOSEI2030解説、Best Teacher賞授業など)
- モデルシラバス
- システムガイド(授業支援ツール一覧)

授業実施サイクルと必要な情報





B

Bootstrap is the most popular HTML, CSS, and JS framework for developing responsive, mobile first projects on the web.



TOP ページ初期開発バージョン

Bootstrap で開発しやすいレイアウトで実装

法政大学 教育支援機構 FD推進センター

[Home](#)
[Event](#)
[Video](#)
Link

教員向FDハンドブック

法政大学の教員が授業を実施する際に参考となる情報を集約した教員向FDハンドブックです。
 「学期の授業プロセス」では、授業設計を行いシラバスを記述し、毎回の授業を行い、期末に成績入力をし、さらに授業改善アンケートのフィードバックを確認するまでの学期を通じて実施する事項を時系列で記載しています。また、「毎回の授業プロセス」では毎週実施されるそれぞれの授業における事項を記載しています。

それぞれのボックスの下にあるリンクをクリックし必要な情報にアクセスしてください。

学期の授業プロセス

<div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">授業設計</div> <p>担当する授業の目的を達成するために、学期にわたる授業方法・評価方法などを検討し、全体の構想を練ります。</p> <hr/> <p>モデル授業 教員サービス一覧 授業設計ガイド 授業参観・学生モニタ</p>	<div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">シラバス作成</div> <p>設計した授業計画に基づいてシラバスを作成します。</p> <hr/> <p>Web入稿システム シラバス作成ガイド モデルシラバス</p>	<div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">学期にわたる授業</div> <p>授業を行います。毎回の授業は下記に示すプロセスとなります。</p> <hr/> <p>教材作成ガイド 教材・テンプレート 教室設備一覧 授業支援ツール一覧 ノートテイクと板書</p>	<div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">テスト/アンケート実施</div> <p>授業改善アンケートおよび期末テストを行います。</p> <hr/> <p>授業改善アンケート操作ガイド 試験用紙ヘッダー</p>	<div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">成績入力</div> <p>教務システムに成績を入力します。</p> <hr/> <p>成績登録ガイド 成績簿/一括登録ファイル結合ツール</p>	<div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">授業評価</div> <p>授業改善アンケート等を参照し今期の授業をチェックし、次年度の授業の改善点をまとめておきます。</p> <hr/> <p>ARCSモデル 授業改善アンケート見方 結合ツール</p>
--	--	--	---	---	--



毎回の授業プロセス

<div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">授業準備</div> <p>毎回の授業で使う教材の作成、レポート課題作成、それらを授業支援システムにアップロードするなど授業の準備をします。</p> <hr/> <p>授業支援システム 授業支援システムガイド ガイドブック</p>	<div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">授業実施</div> <p>授業を実施します。学生参加型の授業を行う場合には、教室設備、各種支援サービスおよびツールなどの情報を確認します。</p> <hr/> <p>教室設備一覧 授業支援サービス一覧</p>	<div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">テスト実施</div> <p>授業で実施したテストなどを採点し、成績簿あるいは授業支援システムなどに成績を転記します。学部によってはjimonシステムが利用できません^{*1}。</p> <hr/> <p>テスト採点の分布 jimon利用ガイド</p>	<div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">レポート課題出題</div> <p>レポート課題の提示、収集、評価を行います。一連の作業は授業支援システムを使って行うことができます。</p> <hr/> <p>授業支援システム</p>	<div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">凡例</div> <div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 2px;">タイトル</div> <p>タイトルに記載したプロセスの説明</p> <hr/> <p>関連情報へのリンク</p>
--	---	--	--	--

*1: 経済学部、キャリアデザイン学部、小金井キャンパス全学部にて利用できます。

発行元：法政大学 教育支援機構 FD推進センター | Versio: 2016-7-8

TOP ページ初期開発バージョン

Bootstrap で開発しやすいレイアウトで実装

法政大学 教育支援機構 FD推進センター [Home](#) [Event](#) [Video](#) [Link](#)

教員向FDハンドブック

法政大学の教員が授業を実施する際に参考となる情報を集約した教員向FDハンドブックです。
 「学期の授業プロセス」では、授業の準備・実施・評価の各段階の授業を行い、期末に成績を入力し、さらに授業改善アンケートのフィードバックを確認するまでの学期を通じて実施する事項を時系列で掲載しています。また、「毎回の授業プロセス」では毎回の授業で実施する各授業の準備・実施の事項を掲載しています。

それぞれのボックスの下にあるリンクをクリックし必要な情報にアクセスしてください。

学期の授業プロセス

授業設計	シラバス作成	学期にわたる授業	テスト/アンケート実施	成績入力	授業評価
担当する授業の目的を達成するために、学期にわたる授業方法・評価方法などを検討し、全体の構想を練ります。	設計した授業計画に基づいてシラバスを作成します。	授業を行います。毎回の授業は下記に示すプロセスとなります。	授業改善アンケートおよび期末テストを行います。	教務システムに成績を入力します。	授業改善アンケート等を参照し今期の授業をチェックし、次年度の授業の改善点をまとめておきます。
モデル授業 教員サービス一覧 授業設計ガイド 授業参観・学生モニタ	Web入稿システム シラバス作成ガイド モデルシラバス	教材作成ガイド 教材・テンプレート 教室設備一覧 授業支援ツール一覧 ノートテイクと板書	授業改善アンケート操作ガイド 試験用紙ヘッダー	成績登録ガイド 成績簿/一括登録ファイル結合ツール	ARCSモデル 授業改善アンケート見方

▼

毎回の授業プロセス

授業準備	授業実施	テスト実施	レポート課題出題	凡例
毎回の授業で使う教材の作成、レポート課題作成、それらを授業支援システムにアップロードするなど授業の準備をします。	授業を実施します。学生参加型の授業を行う場合には、教室設備、各種支援サービスおよびツールなどの情報を確認します。	授業で実施したテストなどを採点し、成績簿あるいは授業支援システムなどに成績を転記します。学部によってはjimonシステムが利用できません ^{*1} 。	レポート課題の提示、収集、評価を行います。一連の作業は授業支援システムを使って行うことができます。	タイトル タイトルに記載したプロセスの説明 関連情報へのリンク
授業支援システム 授業支援システムガイド ガイドブック	教室設備一覧 授業支援サービス一覧	テスト採点の分布 jimon利用ガイド	授業支援システム	

^{*1}: 経済学部、キャリアデザイン学部、小金井キャンパス全学部にて利用できます。

発行元：法政大学 教育支援機構 FD推進センター | Versio: 2016-7-8

TOP ページ初期開発バージョン

Bootstrap で開発しやすいレイアウトで実装

法政大学 教育支援機構 FD推進センター [Home](#) [Event](#) [Video](#) [Link](#)

教員向FDハンドブック

法政大学の教員が授業を実施する際に参考となる情報を集約した教員向FDハンドブックです。
 「学期の授業プロセス」では、授業設計を行いシラバスを記述し、毎回の授業を行い、期末に成績入力をし、さらに授業改善アンケートのフィードバックを確認するまでの学期を通じて実施する事項を時系列で記載しています。また、「毎回の授業プロセス」では毎週実施されるそれぞれの授業における事項を記載しています。

それぞれのボックスの下にあるリンクをクリックし必要な情報にアクセスしてください。

学期の授業プロセス

授業設計 担当する授業の目的を達成するために、学期にわたる授業方法・評価方法などを検討し、授業計画を練ります。 モデル授業 教員サービス 授業設計ガイド 授業参観・学生モニタ	シラバス作成 設計した授業計画に基づいてシラバスを作成します。 Web入稿システム シラバス作成ガイド モデルシラバス	学期にわたる授業 授業を行います。毎回の授業は下記に示すプロセスとなります。 教材作成ガイド 教材・レポート 教室設備一覧 授業支援ツール一覧 ノートテイクと板書	テスト/アンケート実施 授業改善アンケートおよび期末テストを行います。 授業改善アンケート操作ガイド 試験用紙ヘッダー	成績入力 教務システムに成績を入力します。 成績登録ガイド 成績簿/一括登録ファイル結合ツール	授業評価 授業改善アンケート等を参照し今期の授業をチェックし、次年度の授業の改善点をまとめておきます。 ARCSモデル 授業改善アンケート見方
---	--	--	---	---	---

毎回の授業プロセス

授業準備 毎回の授業で使う教材の作成、レポート課題作成、それらを授業支援システムにアップロードするなど授業の準備をします。 授業支援システム 授業支援システムガイド ガイドブック	授業実施 授業を実施します。学生参加型の授業を行う場合には、教室設備、各種支援サービスおよびツールなどの情報を確認します。 教室設備一覧 授業支援サービス一覧	テスト実施 授業で実施したテストなどを採点し、成績簿あるいは授業支援システムなどに成績を転記します。学部によってはjimonシステムが利用できません ^{*1} 。 テスト採点の分布 jimon利用ガイド	レポート課題出題 レポート課題の提示、収集、評価を行います。一連の作業は授業支援システムを使って行うことができます。 授業支援システム	凡例 タイトル タイトルに記載したプロセスの説明 関連情報へのリンク
--	---	--	--	---

*1: 経済学部、キャリアデザイン学部、小金井キャンパス全学部にて利用できます。

発行元：法政大学 教育支援機構 FD推進センター | Versio: 2016-7-8

タイムラインが
わかりにくい

TOPページ改良案

要件定義で計画した上下方向のタイムラインを実装



教員用 FD Handbook

FDハンドブック

法政大学の教員が授業を実施する際に参考となる情報を集約した教員向FDハンドブックです。

フローチャート形式目次 リスト形式目次

それぞれの見出しにマウスを合わせるとそのプロセスの説明がポップアップされ、クリックすると詳細なページに移動します。

学期の授業プロセス

- 授業設計
- シラバス作成
- 学期にわたる授業
- テストアンケート実施
- 成績入力
- 授業評価

毎回の授業プロセス

- 授業準備
- 授業実施
- テスト実施
- レポート課題出題
- 資料一覧

発行元：法政大学 教育支援機構 FD推進センター | Versio: 2016-7-15

モバイル版



全項目表示用
リスト形式
も選択可とした



教員用 FD Handbook

FDハンドブック

法政大学の教員が授業を実施する際に参考となる情報を集約した教員向FDハンドブックです。

フローチャート形式目次 リスト形式目次

それぞれの見出しにマウスを合わせるとそのプロセスの説明がポップアップされ、クリックすると詳細なページに移動します。

学期の授業プロセス

- 授業設計
- シラバス作成
- 学期にわたる授業



教員用 FD Handbook

FDハンドブック

法政大学の教員が授業を実施する際に参考となる情報を集約した教員向FDハンドブックです。

フローチャート形式目次 リスト形式目次

学期の授業プロセス

授業設計

- 概要
- 総長ビデオ
- 授業設計
- 授業方法
- 教員サーブス

シラバス作成

- 概要
- シラバス作成ガイド
- モデルシラバス

学期にわたる授業

- 教材作成ガイド
- 教材・各種テンプレート
- 教室設備一覧
- 授業支援ツール一覧
- ノートテイクと板書

テスト・アンケート実施

- 授業改善アンケート操作ガイド
- 試験用紙ヘッダー

成績入力

- 成績登録ガイド
- 一括登録ファイルへの判定入力ツール

成績評価

- ARCSモデル
- 授業改善アンケート集計結果の見方

毎回の授業プロセス

授業準備

- 授業支援システム
- 授業支援システムガイド
- 授業支援システムガイドブック

授業実施

- 授業設備一覧
- 授業改善サービス一覧

テスト実施

- テスト採点分布確認
- jimon利用ガイド

レポート課題出題

- 授業支援システム

資料一覧

- 教員ハンドブック(学務部発行)
- 授業支援システムガイドブック

発行元：法政大学 教育支援機構 FD推進センター | Versio: 2016-7-15

授業設計 – 概要、総長ビデオ

簡潔で直感的な表現とする

教員用 FD Handbook Home Link

授業設計

概要 総長ビデオ 授業設計 授業方法 教員サービス

授業設計では、担当される授業の目的を達成するために、学期にわたる授業全体の構想を練ります。授業を設計するための方法論は授業設計のパートで詳しく紹介しますが、ADDIEモデルを用いて全体像を検討し、ARCSモデルを用いて詳細な設計をチェックするといったように利用します。

例えば、ADDIEモデルに基づく授業設計は下記に示すように5段階のステップとなっています。

分析	前年度実施された授業改善アンケートの結果を参考にし、ニーズ分析とゴール分析をして全体像を決めます。法政大学では「自由を生き抜く実践知」という憲章を制定していますので、この憲章に基づいた「実践知教育」が望まれます。総長から先生方へのビデオメッセージをご覧ください。
設計	どこをどのような形にするかをデザインします。シラバス作成はこのフェーズとなります。ここにモデルシラバスを掲載しています。
開発	教材を作成したり、ビデオを撮るなどの開発を行います。ビデオ制作についてはこちらを参照してください。また、授業で利用できるツールやサービスが提供されていますので、こちらを参照してください。
実施	実際に授業を実施します。
評価	実施したものを評価します。全学的に授業改善アンケートが実施され、その結果は教員にフィードバックされます。

ARCSモデルによる授業チェックはこちらです。
 こうした方法論を長年の授業実践で独力で修得される先生もいらっしゃいますが、多くの実績をもとにして開発された方法論ですので、是非ご覧ください。

参考文献

- ・ 向後千春、「上手な教え方の教科書」、技術評論社、2015

発行元：法政大学 教育支援機構 FD推進センター | Versio: 2016-7-15

教員用 FD Handbook Home Link

授業設計

概要 総長ビデオ 授業設計 授業方法 教員サービス

教育の場で「自由を生き抜く実践知」を学生に伝えるための総長からのメッセージです。(テキスト版)

先生方へのビデオメッセージ

学生たちに「自由を生き抜く実践知」を伝えるためのお願い

総長 田中優子



ポイント

- ・ 法政大学のホームページには、「法政フロネシス」という窓があります。ぜひ訪れて下さい。
- ・ 目標をもって努力すれば、今までの自分を超越することができます。ひとりひとりの学生に目標を設定して下さい。
- ・ 法政大学の135年の歴史と現在についてぜひ学んで欲しい、と学生に伝えて下さい。

① 法政大学憲章(拡大版)

法政大学憲章



**社会に対する
法政大学の約束
ブランド=約束**

自由を生き抜く実践知

法政大学は、近代社会の黎明期において、権利の保護にのみならず、法律の知識を求め多くの市民のひびとのために、累年の蓄積によって設立されました。

校風に纏うよき絆よき友が集い、人びとの権利を護らし、多様性を認めあう「自由な学園」と、なにもにもとらわれないことなく公正な社会の実現をめざす「進歩の発展」とを、育んでまいりました。

建学の来この精神を受け継ぎ、地球社会の課題解決に貢献することこそが、本学の使命です。

その使命を全うすべく、多様な視点と先見性をそなえた研究に努めるとともに、社会や人のために、真に自由な思考と行動を貫きとおす自立した市民を輩出します。

地域から世界まで、あらゆる立場の人びとへの共感に基づく健全な批判精神をもち、社会の課題解決につながる「実践知」を創出しつつ、世界のどこでも生き抜く力を育する。あまたの卒業生たちが力を合わせて、法政大学は持続可能な社会の未来に貢献します。

発行元：法政大学 教育支援機構 FD推進センター | Versio: 2016-7-15

授業設計 – 授業方法

東京大学で制作された+15を引用する

教員用 FD Handobook Home Link

授業設計

概要
総長ビデオ
授業設計
授業方法
教員サービス

ここでは具体的な授業の進め方を紹介します。
 下記の3つの例は、東京大学にて制作された"+15 (Plus fifteen minutes.): How can we enjoy plus 15 minutes?"から抜粋した授業方法です。
 この資料には、下記に挙げた3例を含む29の手法が記載されており、大講義でも使える手法もあるため、その一覧も合わせて掲載させていただきます。

Think Pair Share

1. クラス全体に質問を提示します。
2. 学生は一人で質問について考えます。
3. 質問について考えたことを、ペアで意見交換します。
4. 意見交換は、話し手と聴き手とを交替で行い、相手の意見との共通点や相違点、その理由について考えながら行うようにします。
5. 必要であれば、クラス全体で話し合った内容を共有します。

ピア・レビュー

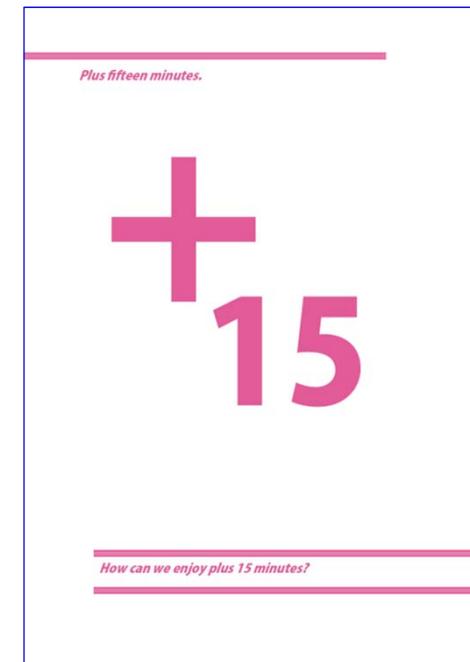
1. 授業中の活動や課題として学生にレポートを執筆させます
2. ペアを作り、お互いのレポートを交換します
3. レポートへのコメントの観点を学生に示します(文法、論点の適切さ、文章の論理性など)
4. 時間を取り、お互いのレポートを読みます(メモやコメントを記入します)
5. 交互にお互いのレポートについてのメモやコメントを口頭で述べます
6. 授業中の活動や次週までの課題として自分のレポートを改善します

問題作成

1. 学生に問題作成用紙を配布し、作成する問題の形式を示します
例: 「本授業での重要用語を回答させる『穴埋め問題』を作成しなさい」「あなたが授業担当者であれば、この回の小テストとしてどのような問題を作成するか、記述しなさい。その際に採点の基準を示しなさい。」
2. 用紙に実際に問題を作成させます
3. 質問について考えたことを、ペアで意見交換します。
4. 時間があれば、周囲の人と問題を交換し互いに解かせます
5. 用紙を回収し、次回の授業で講評します

■ "+15 (Plus fifteen minutes.): How can we enjoy plus 15 minutes?"に掲載されている手法一覧

手法名	大講義への適合度(1~5)	目的	所要時間	活動人数
T/F テスト (正誤テスト)	5	前時の復習・予習	10-15分	個人/ペア/グループ
クイズ (多肢選択式の質問) で理解度を確かめる	5	前時の復習・予習	10-15分	個人/ペア
覚えていることや理解していることを紙に書きだす	4	前時の復習・予習	10-30分	個人/ペア/グループ
Background Knowledge Probe (背景知識の調査)	5	学生の状態 (事前知識) を知る	10-15分	個人/ペア/グループ
インタビューと自己紹介	3	教員と学生・学生どうしの関係構築	15-30分	ペア/グループ
自己紹介カードの作成	3	教員と学生・学生どうしの関係構築	5-10分 (作成) 15-30分 (内容共有)	個人/グループ
Think Pair Share(個から全体へと広げる議論)	5	短時間でその場でできるディスカッション	5-20分	ペア
Buzz Groups (グループでの議論)	4	短時間でその場でできるディスカッション	5-20分	グループ
Ball-toss (ランダムに話し手を決める)	3	教室全体を使って行うディスカッション	5分~	クラス全体/グループ
Snowballing(for discussion) (雪だるま式に人数をふやして議論す)	3	教室全体を使って行うディスカッション	10分~	ペア/グループ
Corner Exercise (提示された質問について交代で議論する)	3	教室全体を使って行うディスカッション	20分~	ペア/グループ



OERの活用

よいものは積極的に活用する

教員用 FD Handbook [Home](#)

学期にわたる授業

概要 **教材作成** 教室設備一覧 教育支援ツール一覧 ノートテイクと板書

教材とは、「ある人が何かを教えようと考えて、そのための材料として用意するもの」を意味します[1]。

教科書、辞書、板書、チョーク、ワークブック、問題集、ノート、テスト、ポストイット、実験機器、運動用具、iPod、PC など教材の事例を挙げればきりがありません。FD推進センターでも、下記に示すように教科書やプリントなどについて紹介されています。

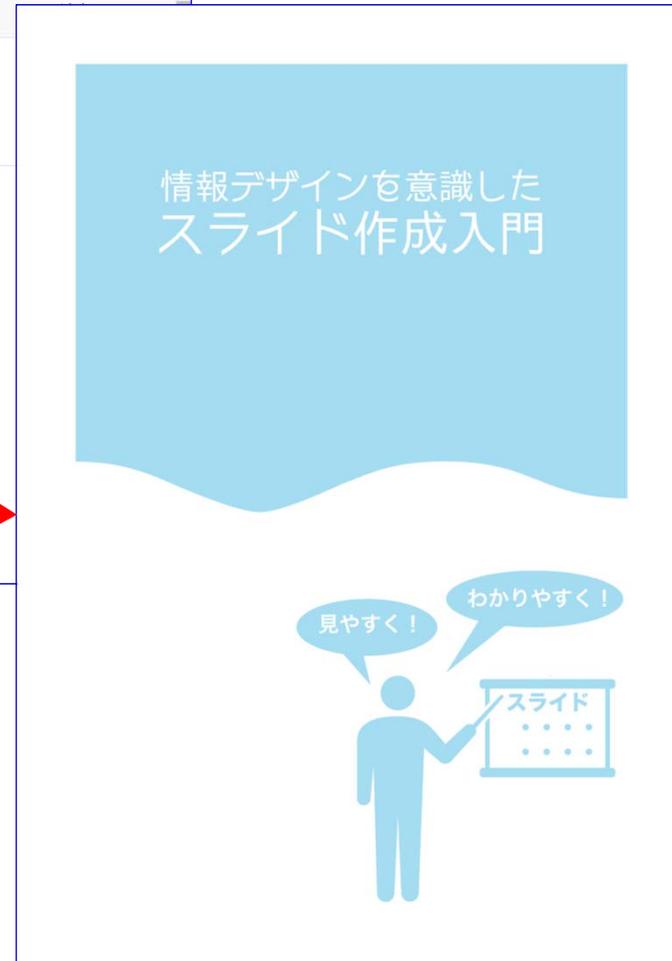
- 教科書
- プリント
- 講義通信、リアクションペーパー

また、最近ではITの進展に伴い、PowerPointを使ったスライドや、ビデオ、電子書籍、Webサイトなども授業で使われています。

教材は、教員の授業方法に大きく依存しており、その作成方法についても一義的に決められません。そのため、ここでは多くの教員に利用されているPowerPointについて広島大学 天野由貴氏によるガイドを一例として紹介しておきます。

- [広島大学](#)

また、法政大学で利用するためのPowerPointテンプレートを掲載します。



広島大学により制作されたガイド

2017年4月に公開予定

🔍 法政大学 FD推進センター

